

Course number		U-LAS70 10001 SJ50				
Course title (and course title in English)	ILASセミナー：「山の民」実践フィールドワーク入門		Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Agriculture Assistant Professor,naito daisuke		
	ILAS Seminar :Fieldwork on Forest Peoples and Livelihoods					
Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences		Number of credits	2	Hours	30
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2026・Intensive, First semester		Quota (Freshman)	7 (7)
Target year	Mainly 1st year students	Eligible students	For all majors		Days and periods	Intensive TBD
Classroom	Main Agriculture Building, Mountainous areas in western Japan (North Campus)				Language of instruction	Japanese and English
Keyword	山の民 / 山の暮らし、生業 / フィールドワーク / 農林業 / 中山間地					
[Overview and purpose of the course]						
近年、日本の基層文化を形成してきた「山の民」の暮らしは、過疎、高齢化などにより急速に変わりつつある。本セミナーでは、近畿（京都、奈良など）の山村でのフィールドワークから、山村に長く暮らして来られた方々との交流を通じて、山の暮らし、文化、行事、生業について学び、実践することによって、現在中山間地に暮らしている人々の生きていく技を体感し、抱えている課題について学ぶことを目的としている。						
[Course objectives]						
・「山の民」の暮らしについて学ぶ。 ・中山間地の抱えている問題について理解する。 ・フィールドワークに必要な基礎知識を習得する。						
[Course schedule and contents]						
集中講義：前期期間中に、以下のフィールドにおいて、フィールドワークを実施する。 まず初回の授業で、受講者の興味・関心に沿って、実習内容・スケジュールを確定する。 フィールドサイト：京北（岩倉、花背、周山、美山）、奈良（吉野） 4月初旬 イン트로ダクション 4月 京北 春の里山を味わう、棚田・畑の整備 5月 京北 茶つみ、田植え準備 6月6-7日 奈良・吉野 山の神（川上村）、山の神神事、夏祭りへの参加、吉野の山づくり 夏季休暇中：京北、美山での山づくり 4,5月は日帰りフィールドワークを2回土日に実施する。 6月は宿泊のフィールドワークを実施する。 フィールドへは8人乗りの車で移動する。						
----- Continue to ILASセミナー：「山の民」実践フィールドワーク入門(2) ↓ ↓ ↓						

ILASセミナー：「山の民」実践フィールドワーク入門(2)

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

フィールドワークへの参加、フィールドノートの記録（70%）
レポート（30%）

[Textbooks]

Instructed during class

[References, etc.]

（References, etc.）

宮本常一『山に生きる人びと』（未来社, 1964）

[Study outside of class (preparation and review)]

訪問するフィールドについての予備学習
フィールドワーク後にフィールドノートの執筆

[Other information (office hours, etc.)]

学生教育研究災害傷害保険等の傷害保険への加入のこと
フィールド実習では、食費、宿泊費がかかります（事前にLMSにて通知します）

[Essential courses]